

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 石川 哲夫 殿

## ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 古河市立古河第三小学校

担当教諭 祢津恵子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。  
記

実施日時	平成22年2月10日(水)
対象学年と人数	第1学年25名・第2学年61名・第4学年56名
活動の内容	<p>(1) アメリカ人ジェフさんとヨルダン人ムーサさんお二人に来校してもらい、低学年向けと中学年向けの国際交流の授業を行った。</p> <p>(2) 2校時目(9時30分~10時15分)は、1・2年生のところでムーサさんが、4年生のところでジェフさんが話をし、3校時目(10時40分~11時25分)は、その反対で、授業を行った。</p> <p>(3) ジェフさんはアメリカ合衆国について、生活習慣等をクイズ形式で行った。ムーサさんは、本人持参のデータを活用し、パワーポイントでヨルダンの国について説明していた。</p>
生徒・保護者等参加者の感想	<p>(1) めずらしい国の人に出会えてよかった。</p> <p>(2) ヨルダンのスカーフの衣装や死海の説明をしてもらった。</p> <p>(3) クイズが当たってよかった。</p> <p>(4) アラビア語やヨルダンの遊びについてよく分かった。</p> <p>(5) ヨルダンがエジプトの近くにあるということが分かった。</p> <p>(6) それぞれの国の国旗についてよく分かり、地図も用意されていたので、世界のどの位置の国なのかよく分かった。</p>
先生の感想	<p>(1) 日本語が上手で、子どもたちとのコミュニケーションがうまくできていた。</p> <p>(2) なかなかよく知られない国(ヨルダン)の国の方に来てもらえて、世界が広がった。死海の塩を見せてもらったり、卵で実験をしてもらったり、子ども達の興味関心をひくことを実演してもらいよかった。</p>

